

[桐生川]

桐生川は、桐生市の密集市街地を流下する河川であり、氾濫することにより多大な浸水被害が生じることから、沿川地域の治水安全度を向上させることが急務となっている。

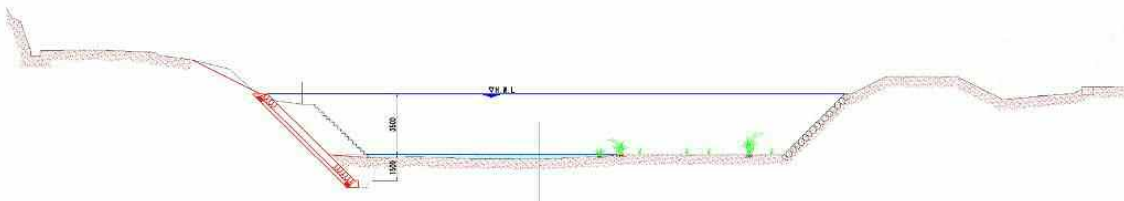
すでに完成している桐生川ダムの洪水調節機能とあわせて、河道拡幅を実施することにより、概ね 100 年に 1 回程度発生すると予想される洪水を安全に流下させる。なお、改修は下流直轄区間の改修状況と調整を図りつつ適切に進める。

改修に当たっては、現況の優れた河川環境を極力保全するため、片岸の改修を基本にして、改変範囲を最小限にとどめるとともに、貴重な魚類の生息環境でもある現況河床の保全に十分配慮する。また、沿川の良い河川環境を極力保全する。

河積拡大のための河床掘削は極力少なくし、あわせて水際改変の抑制、従来から現地にある玉石・大礫等の存置などを実施することで、自然環境の保全に努める。

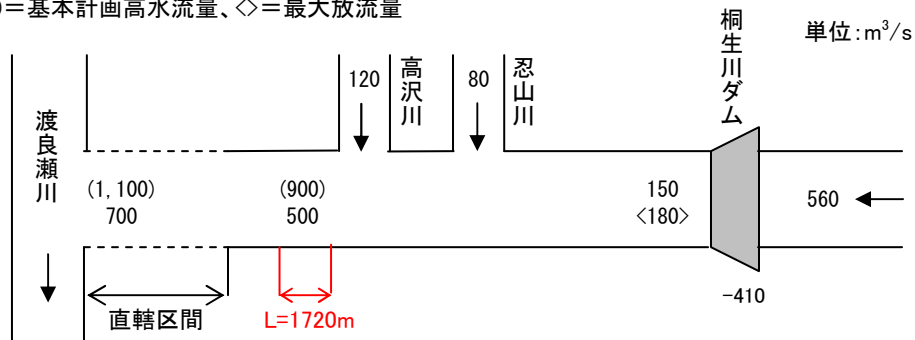
整備の実施にあたっては、動植物の保護に十分配慮することとする。

- 施工区間： 大堰上流 180m～観音橋
- 延長： L=1,720m
- 整備内容： 築堤工、護岸工、掘削工



代表横断面

( ) = 基本計画高水流量、< > = 最大放流量



計画流量配分図